



7828

十六

作歌各事在別卷

小帶依字同在し

夕附日和歌同在し



萬葉集卷第十六

有由緣并雜歌

昔有娘子字櫻兒也、于時有壯士二(五)並(比)

娘而嫡生格競、貪死相敲於是娘子歎息(嘆)

萬葉集卷第十六

有由緣并雜歌

昔有娘子字曰櫻兒也于時有壯士二人誂此娘而捄生格競各貢死相歌於是娘子歎息曰從古來今未聞未見一女之身往適二門矣方今壯士之意有難和平不如妾死相害永息各乃尋入林中懸樹經死其兩壯

士不敢衒慟而注連楪名陳之緒作歌

二首

春去者梅頽示将為跡我念之櫻花者散去香聞

そこをしはかさしてもをわれおもりさく

らのそれをもちやまもりつゝ

妹之名乎繫有櫻花散者常共打寐等之扣乎

いもうなをかくらさくらそれをもちやまもりつゝ

昔有老翁号竹取翁也並翁季子者之月

釜(岳)左陳望忽值者父養ニ九箇(筒)女子也一日婦之

傳(儒)花客云ふ千時娘子等咩老翁嗤而舞文

来子並(ゾ)燭火也於是翁曰雖雖(惟)浦(ウラ)歌体行

妹之名乐繫有櫻花散者常矛扨寒詠筆之扨乐二
いそうなのかくそうそくらはも

昔有老翁兮曰竹取翁也此翁季看之月
釜(岳)垂望忽值者公義ニ九箇(箇)女子也一曰婦之
傳(儒)化客云云于時娘子等咩老翁嗤曰舛又
寸子(ヅ)此燭火也於是翁曰唯唯(惟)浦枝條行
着(看)接座上良久娘子等皆共ニ咲相推
讓ニ曰何誰咩咲此翁(おきなもと)者ニ乐乃竹取翁
謝之曰衆ニ憲之外偏每神仙迷惑之

Powered by Google

敢不採取祇承之旨希願以救己作救
一首 并短歌
縁之若子蚊見庠迹垂乳為女所慷慨祇承生之蚊見
庠結行方衣氷津裏丹縫服甄着之童子蚊見
庠情之枝着衣服我矣丹目子等何守庠三名
庠情之枝着衣服我矣丹目子等何守庠三名
之綿蚊里為髮尾信櫛持於是蚊寸垂取手拳
而裳緋見解乱童児丹成見羅丹津蚊経毛丹著
恐行芳等永翠等永見作誰子其迹寿狭し
寸為我寿海寸八為今日八方子等丹五十
詠狭し寸為我寿海寸八為今日八方子等丹五十
狭迹来寿一所思而在如是所為故為古部之賢

應結行方衣水漉囊丹縫服類著之童子蚊見
應悔之杖著衣服我矣丹白子等何宜十應三名
之絢蚊里為髮尾信樹持於是蚊寸垂取手拳
而裹縄見解乱童兒丹成見羅丹漉蚊経色丹名
忍行芳等永聚等永見作誰子具述芳狭し
寸為我方論寸八為何思而在如是何為故為古
訴狭与寸為我方論寸為今日八方子等丹五十
狭述述芳何思而在如是何為故為古訴之賢
人海後之人世之監将為述老人矣美車持聚事
及歌二首
死者葬桐不見在目生而在者白髮子等丹不生在目八方

きりくれそみ川をひるもむ

ふく田うく山縁うく現今日住緋吾ふ告さ婆楽逗手麻うく子二

ありひきのやまのつらのくまのゆくとわき

みけきとはこうるもこまを

ふく田玉縁うく現如今日何限平見管手ふ監三

ありひきのやまのつらのくまのとうれ

つくまをみつつきてもむ

着手業うく大綾うく衣里江うく遠里小野うく真榛持丹

穂こ為衣丹指錦紋丹縫着刑部重訳波果服

打十八為麻績児寺蟻衣うく賛うくつ寺数打持

者行而織布暑うく朝手作尾信巾衰成者

呂国王縁之現如今日何限平見管乎小監
あしきのみなつつらのこころのとうれ
つくまをもつてきてむ

着乎業之大綾之衣里辺之遠里小野之真榛持丹
穂之為衣丹柏錦紋丹縫着乎許重許波果服
打十八為麻績兒等賛之衣之賛之而寺蚊打挂
者行而織布暮之朝手作尾信巾裳成者
寸取為支度刑行稲寸丁女蚊妻問乎遠我丹叫
来為彼方之二綾裏哉白飛鳥壮蚊霧経為
皆刺佩而度之往退真榛三真木尾乎遠女蚊

駿騄同而利丹所乗為永練絹帶尾了帶成
韓帶丹取為海神之殿蓋丹飛翔為軒如乗寄
紬丹取儛永真十鏡取雙懸而之蚊果乗迷永見
作者避而野鳥見迴者面白見我矣思行致挟
野津鳥乗鳴翔行秋僻而山鳥尾往者名津蚊
為永迷我矣思行致矣雲衾行由幸引乗迷三路尾
刑乗者村永刺宮尾見名刺竹之名人壮衾

[illegible]

[illegible]

屠尾思屠尾點(默)尾事物不言矣丹我者将依
[illegible]

作者避而野島迫者面白見我矣思行敗将
野津鳥来鳴翔行秋薄而山邊尾徃者名津跋
為亦我矣思行敗矣雲衆行由幸引来逐三騨尾
刑来者村求判宮尾見名判竹ラ舎人壮衆
もしもや言おきしものうつつまぬき
こいのこころやか(け)てをこう
屠尾忍辱尾點(黙於)元事如不言丹我者将依
(ナリ)のしもそしてこそろ
りのいわをそろむ
不(石)深語法深随欲可救白行見我深将依
いうそとそいおりもこよゆるす
うつつもみをわもこうるむ
死深生法深同未(ふ)結而為友八達我法深将依

豈將不在自身柄人ならん事淵不盡天水依
あらてあらはあるうらもをもの
このこんつもはわれもるむ
者田馬くす穂蓬萊山思而有情者可知我也淵水
たゝみすきにけるそいしれとおりしてわろ
こゝろのそまもわれもるむ

昔者有壮士新成婚礼未経幾時思為驛使被遣筑紫国有限寄物妻娘子感懽悵流川淚霑巾袖分袂易別会期難遂悒憤之情非歌難陳乃作歌曰

霞立長春之時花開百草之秋
蘭薫秋之夜月皎清之流渡
仙媛乗煙而翔来天漢之霧
神仙排雲而飛去蓬山之雲
如是有家流神子松石川之奥子淵目之奥有

かうのこまありてそらしらぬのおとをも
みうめてわつれなくもし
娘子川岡支君こ秋保松峯頭(應)和歌二首
爲むこ黒髪川沿ひ深雪こ歩も重笠なき雨
うちこ降のくらつこあすゆめの
うちてやキ降まれに(なん)ふるこそ
今案ずるに秋保阪組果(戯)ら高葉時
雪沿こ公也旨新娘子作此歌深雪こ句歌
事こ有者小泊瀬山乃石城尓母隠者妾乎奈何将思
肯
こゝ一おこらをそのそ海のいそこ

爲むこと最後川沿ひ深雪こと更に難渋者
うちそ後のくろつこれまでくあまゆゑの
ものてやキ陸まれにかゝるこれまでも
今集ひ歌こと史枝使既往果共(貳)巻ら高葉時
雪深うく冬也旦新妙子作此歌深雪こと句歌
事こく有者小泊瀬山乃石城乐女隠者云ふ海兎
肖
こゝもおらとをそのそ後のいまゝ
もこゝくしもそんとおもふなわそ
右傳云時有女子乃父兄高橋壮士也
壮士情慢甚親叫精有婦頂(院)こく意旦

時君子載作新歌贈其妻文也

安積香山歌副所見山井之淺くとも人を念ふ莫國
あきつ鳥ゆきとかふ山のもみち
くれなゐにこそわが戀ひめやも

石傳歌曰葛城王遣于陸奥國之時國司祗
承緩怠王意不悦怒色頗面雖
設飲饌不肯宴樂於是有前采女風流
娘子左手捧觴右手持末擧撃之王膳
而詠此歌(女の)王意解悦樂飲終日

墨江之小集樂玉出而寐意吾毛妻高子鏡叓見

洋

右傳敬曰葛城王遣于陸奥國之時國司祉
米綾怠異甚於祉王意不悦怠色顕而雖
設飲饌不肯宴樂於是有前采女風流
娘子左手捧觴右手持米擊之王膝
而詠此歌秀王意解悦樂飲終日
墨江之小集樂未出而薗臣妻高子鏡參見
洋之洲
まつこのそのをつめらまいてこうつてまんな
のめまらをこのこととぬ
右傳云者部人姓名未詳也于時卿里男女

衆集野莊逕畢舍會集之中有敢人夫婦甚
婦容姿端正秀於衆諸乃彼敢人ニ意
孫婿受妻之情而作斯敢賛美白也
高愛領焉歸之沙汰有者吾下衣及賜賜来
あまりまわ
ものこれあらば
こわつくしもつつ
右傳之時有刑幸娘子也 姓名未詳 龍薄之後衆逕

賜之物悟之可多美 於是娘子悲恨斯作斯敢獻上
味飯手水手讓成吾待之代者當元立与ニ不有者
右傳之首有娘子也相刑其夫望經行年時
支君更取他妻正身不来信賜畢物自此娘

高嫂領焉跡之而有者許當吾下衣及贈賜来
あもうまわ　もの　こ　あ　は
ふわ　う　こ　も　う　う　ふ
右傳云時有刀拿娘子也　姓名未詳　龍薄之後裔

賜之物佐之可
多美　於是娘子悲恨哀作歌獻上

味飯乎水手醸成吾待之代者當元立乎ふ不有者
アヂイヒヲミツテカミナシヨカリテナメシアテハ

右傳云旨有娘子也　相別其夫望經行年時

夫君受取他妻正身不来信賜畢物見此娘
子作此恨歌即誦也

寒夫君歌一首并短歌

左耳道良布君之ニ云尊玉梓乃使毛不来者憶

病吾身一曽千磐破神乎毛莫屡卜部座羲毛莫焼
曽寝ゞ久乎痛吾身曽侍知白苦身尓染保里村肝
乃ゞ碎而将死命乎波可成奴今更君可吾ゞ妻ゞ千
根乃女ゞ所事放百不ゞ八十乃儛本夕占令毛卜本
毛曽問應死吾ゞ故

又歌

卜部ゞ毛八十乃儛毛古雖問君ゞ柄見多将不知毛

うらへをことやうのちもまことへとうらへ
キてうをあへそこうらまてうらまを

或本反歌曰

吾命者惜雲不有散迩良布君尓依而曽長欲為

根乃女ゝ御事欤百不尽八十乃儀本夕古今毛卜本
毛着問應死吾ゝ故
又歌
卜詩子毛八十乃儀毛古雖問君子相見多時不知毛
うらゝをてやうのちもてうらふれつゝ
きてうらをあらそふるうたまつらすも
或本反歌曰
吾命者惜雲不有敝追良布君尓依而曽長欲為
わのいのちはをしくそもあらなくにかぎりつゝ
きみがためをながくほりする
右傳云時有娘子姓車持氏也其父公主等序

不作往来于時娘子係恋傷心沈臥痾瘵
羸瘦日異忽臨泉路於是遣使喚其夫君来而
乃歔欷流涕口号斯歌登時逝歿也

贈歌一首

真珠者緒絶為尓伎登聞之故尓其緒復貫吾玉尓将為

しらたまはをたえしにきときゝしゆゑへ
そのをまたぬきわかたまにせむ

答歌一首

白玉之緒絶者信雖然其緒又貫人持去家有

しらたまはをたえはましゝしかれとも
そのをまたぬきひともちいにけり

贈歌一首

真珠者緒絶鳥乎伎登雨之故尓其緒復貫吾珠乎将鳥

答歌一首 曰

白玉之緒絶者雖不貫亦人持去家有

右傳之時有娘子夫君見棄改適他氏也于時

或有壮士不知此歌贈遣清詑於女父母

者於是父母之意壮士未通委曲之間乃作

彼歌敷衍し贈答し贈答し縁
家ふ有ら横ふ鏁夫蔵而師慈乃奴こ来見賢二而
いつまでありしふつまさうつたしみさうて
こひのやつこのつみうかて

右歌一首穂積親王宴飲こ日酒酣こ時好
誦斯歌し焉恒也

可流羽須波田廬乃毛美等ふ吾兄子者二布支ふ咲

而立麻高門見 由盧君多支安

うるさ次のそこそのしもるもつせこはま、
うつつなくてこもりてまもこゆ

朝霞香火屋こ下乃鳴川津こ妹ふ管有言将告

右歌一首穂積親王宴飲ふ〳〵日酒酣ニ〳〵時好
誦斯歌也 高恒吉備也

可流羽須波田盧乃毛等今吾兄子者二布支今咲

而立之麻高所見 田盧者多支安反

ろもそのこのもろもろのせこはも
みつもてそこもそてまもこゆ

朝霞香火屋ふく下乃鳴川津ふく努比管有寸将告
児毛欲得

あきつしみそのしまなくかも
しねとつもことそもこと

右歌二首河村王宴居之時彈琴而即先誦
此歌以為常行也

暮三月雨打梨者春日野之草花之末乃白露於
女保惟

ゆくりなくあめのしたをそ
をちこちのひとのこころの
をなみかも

久米禅師河島皇子忍壁皇子等互相戯
接手而作歌

ゆくりなくひとのこころのおもほえて
にかもかくもすべなきものは

右歌二首小納言王宴居之日取琴令
誦時忘先
後次歌也其小納言王者更不量始
終多少斯之

母保遊

ゆふたちのあめうちふれはかすかのの

をはなかうれのしらつゆおもほゆ

夕附日指哉河嶋邊令構屋之形乎宜美諾所因来

ゆふつくひさすやかはへにつくるやの

かたをよろしみうへよそりくる

右歌二首小鯛王宴居之日取琴登時必先

詠此歌也其小鯛王者更名置始多久美斯也

兒部女王嗤歌一首

美麗物何所不飽矣坂門等之角乃布久礼尓四具比

相尓計六

右時有娘子姓氏名字不聽高姓
人々問池度慮許下姓媚士々問也於
是児訴女王義作此歌唫彼愚也

一本右寺曰

寺歌曰

橘寺之長屋尓吾与宿之童女波太手理波髪上不揚
成尓家里

右秋椎野連長笠豚日主寺家之産者不

人うへ川池度慮許下姓娘士うへ川池也於
是児訪女玉章作此歌唫咲彼愚也
真
等歌曰　一本古寺曰
播寺うへ長屋公吾寮宿うへ壹女汝大手理波髮上弁良
寸
武可
いちもれのてらのなかやまかれのそりもうえあらむか
右歌椎野連長年脉曰支寺家うへ座者不
脉一本先
有俗人彼寂屋之俾若冠女日改髮非矣弁
腹句已う改髮非者庭句不可重う著冠う
鮮寸

沈日

擂之光有長公本吾卒宿之宇奈鳥放今緩拳都

良式香

こちそれのてもそるつそまれのの

うるぬもそるりよこそあくりこむこ

長宇寸意吉麻呂歌八首

刺名信今湯和叫母子等樂津乃橋徒末許武

机干安乍佐武

さそ名形つまぬもそこんそもこんそもの出そ

しまねこもせこつまもさん

右二箭傳ニ一時家集宴飲也於時夜滿三

うるのもとるりよ、こころあくりよむ

長、忘寸意吉麻呂歌一首

梨花信今湯和可世子寺樂浪乃檜橋従来許武

柿本朝臣佐武

さゝなみのしゞのからさきさきくあれとまたもあひみむまでに

右一首傳云一時家集宴飲也於時夜漏三更所聞柿聲合乃衆諸誘興麻呂曰聞此雑物柿聲河橋寺物儛作歌者即應聲作此歌也

詠行騰真力著肩食兦膺屋様頭

食兦膺裏嘉青奏特来様余行騰懸而具ス

まそそそしまをれまをてこうはもる

むそそそけてやもむこれまそん

詠荷要頭

連華まん知是許当有物意去磨ふう家在お者宇

毛乃童余有う

もそもまそかくおあるものいきまそ。

いつそうしのそこうそのそよまそうら

詠雙ス頭歌

ニニく月耳不有五六三ニ佐詠有雙六乃佐歌

詠荷葉頌

蓮華ハ知見許當有物意去磨ハ家花ハ者宇毛乃葉ハ有ラ

ムトモ

詠雙六頌

二ツ目耳不有五六三ハ佐許有雙六乃佐叡

詠香爐厨子釼文頌

香隆流塔尓莫依川隈乃屋敷有藤花奴
加宇名之流己ふ之流香聞世己曾
くさのつまはするイタチヤツコ

詠酢漬蘇鯛水葱歌

膾酢尓蘇若布合花鯛顔吾木乃川見水葱乃妻物
出し米寸ゑ

詠玉梓使未鐘磨宅乃池無蓮本二千告将梓者
詠白鷺哭木飛歌

将酒今幕者仗合飛鯛願吾本勿川児水葱乃妻物
出一糸寸なるしろまそて一こそりよ
ろろこそろなてのあ一り
詠玉梯鐘天才香来歌

玉梯史来鐘磨室乃池興蒙本一二告将梯高
ろ為ろきこうりこまろもろのよとなろの
ろろ一ろろろもろめま

詠白鷺呼来飛歌

池神力士像叶如白鷺乃桂咩持飛波良式
けろんのわろくろ月もしからもれ
こけ小ろろてとれるるも

忌部首詠数種物歌一首　名忘失也

枳蕀原苅除曽氣倉将立屎遠麻礼櫛造刀自

からたちのうばらかりそけくらたてむ
くそとほくまれくしつくるとじ

境部王詠数種物歌一首　穂積親王之子也

虎尓乗古屋乎越而青淵尓鮫龍取将来劔刀毛我

とらにのりふるやをこえてあをふちに
みづちとりこむつるぎたちもが

作主未詳歌一首

成棗寸三二粟嗣延田葛乃後毛将相跡葵花咲

なしなつめきみにあはつぎはふくずののち

境部王詠数種花歌一首　穂積親王こゝに

庵令垂古心な趣ら青淵乎敲る来飛力毛

とらなゝるゝ

刈ゝてこむ

作ゝ未詳歌一首

成業寸三三翠翦(剪)丘田(田)首乃後毛将相笑花咲

ゝ

敲新田親王歌一首　未詳

勝間田ゝ池者我ゝ蓮言差ゝ蟹之如ゝ

右或有人問云「新田部親王出於遷殯宮時婦人作誄歌一首
并短歌」

見勝田池感緒所作歌一首并短歌

（柿本朝臣人麻呂）

敷妙乃 袖易而 毎夜 共宿之 妹乎 置而夕 山道乎 暁露尓
沾乍 石根許 伎見乎 名積来者 嶺乃上尓 開在 馬酔木乃
花乎 毎見 情者 妹尓 依鳥 物乎 念尓 胸 痛 恋之 伎
故 為便 不知 尓 木綿畳 手取持而 引攀而 折毛 不折毛
君之 家乃 門乎 入出 見 雖飽足 思 妹之 門乎

反歌二首

馬酔木乃 花之 盛尓 毎見 君之 家乃 門乎 見者 悲毛

栲縄乃 長命乎 恃尓 百年尓 有来 妹尓 今夜 巡相鴨

右或有人問云「新田部親王出於遷殯宮時婦人作誄歌一首并短歌」

見勝田池感緒所作歌一首并短歌

（柿本朝臣人麻呂）

敷妙乃 袖易而 毎夜 共宿之 妹乎 置而夕 山道乎 暁露尓
沾乍 石根許 伎見乎 名積来者 嶺乃上尓 開在 馬酔木乃
花乎 毎見 情者 妹尓 依鳥 物乎 念尓 胸 痛 恋之 伎
故 為便 不知 尓 木綿畳 手取持而 引攀而 折毛 不折毛
君之 家乃 門乎 入出 見 雖飽足 思 妹之 門乎

反歌二首

馬酔木乃 花之 盛尓 毎見 君之 家乃 門乎 見者 悲毛

栲縄乃 長命乎 恃尓 百年尓 有来 妹尓 今夜 巡相鴨

見勝間田池感緒之中還自彼池不忍

怜愛於時語婦人曰今日遊行見勝田池水

影濤々蓮花灼々何怜断腸不可得言尓乃婦

人作此戯歌専輙吟詠也

謗佞人歌一首

奈良山乃児手柏之両面尓左毛右毛佞人之友

ならやまのこのてかしはのふたおもて

にかにもかくにもねぢけ人のとも

右歌一首博士消奈行文大夫作之

久堅之雨毛零奴可蓮荷尓渟在水乃玉似将有見

ひさかたのあめもふらぬかはちすはにたまれるみつのたまににたるみむ

とゆるえつのうたもこゝにみえたり

右歌二首傳へ有石公事妨姓名未詳多能歌作うた爰也于時府家倫後設酒食饗宴并官人等於館舎令賦風雅詩并奏諸人酒前歌二首

驛乃誘今事二用云并華乃歌人古

釜叶西歌(斯)他計歌也

三首

吾妹兒乎額田生流飯二乃事須乃牛乎食上乎痛

わぎもこをぬかだにおへるいゝのことすのうしをはめをいたみ

吾兄子乎横臭太刀流赫支礼石乎吉野乃山太来

鐙を風こそ吹用寿 葉清人酒前歌五騎

蟬乃浦乃事こ明言寿 葉乃作歌人名

釜吐西敲(打)他計(斯)歌也

三ノ川善歌二首

吾妹児こそ額田生流饒兵乃事須乃牛こそ倉上こそ陳

わすりこそ乃也てひおろそそくのことも

のうしのくらのうしのうまき

吾兄子こそ横臭太志為流赦支礼石こそ吉野乃山太来

臭乎見懸有懸有支

依義礼流

わてそこそ乃草ふきよそろつつまいそのの

のや海を也をそかこれる

和銅二年敏信有
臣勢朝臣子祖父
与子祖父同名異
姓之者祖父下
名之

右歌者舎人親王之侍座内豎有作之川由之
歌人者賜之銭帛于時大舎人安倍朝臣子祖父
又乃作斯歌奉献之即賜銭卌文給之
池田朝臣嗤大神朝臣奥守歌一首　池田朝臣名忘失也

寺々女餓鬼申久大神乃男餓鬼被給而喜之将播
てらてらのめがきまうくおほかみのをがきたまはりてうれしとまをさむ

大神朝臣奥守報嗤歌一首

佛造（ほとけつくる）真朱（まそほ）欲（たらす）丹（に）者水銀（みくかね）出（いづ）
ホトケカクマソホニタラスハミツカネイヅ

我（あ）大王（おほきみ）乃（の）
ワカオホキミノ

敷（しき）座（ます）国（くに）曽（そ）
シキマスクニソ

平群（へぐり）朝臣嗤歌一首

池田朝臣嗤大神狛奥守歌一首　池田朝臣名忘失也

寺々女餓鬼申久大神乃男餓鬼被給而
てらてらのめがきまうさくおほかみのをがきたまはりて

うらぶれをるかも
うらぶれをるかも

大神狛人奥守報嗤歌一首

佛造乃真朱多良須伎者水銀池田乃朝臣我鼻下二生礼
ほとけつくるのまそほたらすきはみづかねいけだのあそみがはなのしたにおれ

ホトケカクヨノマカニタラスハミツノイケルイケダノアソカハナノシタヘヲヰル

大神狛人嗤歌一首

平群狛占嗤歌一首

小児等草螺乎多仁伎小穂摘菜乎小穂積乃小竹呂弖礼
わらはらくさつむをたにきこほつむなをこほつむしのこころをれ

わらはもしかたをかのあをやぎをとりてかづらにせむこのころ

穂積朝右和歌一首

竹河者奥津宮乎磐間壓手祭乃河乎我幣
乎奉礼

つくにおもあのなはゆるさかいつくしん
つくわのあうかもとれのふうこまゆき

嗤咲黒人之歌一首

為玉之寝夫乃大黒毎見伎物乃尚恋川含廿四
うちそ海の恋つゝのみをれ、その
ものをくつのおもゆるもも

答歌一首

玉藻吉敏乃大黒鉢磐自久有之諾欲有黒乎
いかつくろ、のきしーえ、

嗤咲黒ら歌一首

為玉ら婆大乃大黒ト母見臣墓乃女ニ川会ヤ河

うそそ海の忠こ乃ゆ久ゝ乃ゝ

ゝ

巻歌一首

生駒土ゝ乃土ゝ鉢磨白ゝ有ゝ諫欲ゝ有ゝ黒ゝゝ

ゝ海ゝゝゝゝ乃ゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

右歌者傳ゝ有大舎人土師宿祢小国字田

志婢麻呂也千時大舎人臣勢豊人字曰云月

麿与巨勢朝臣（名字缺ここも也脱村大支ニ皆也）両人並出婆
匂里而為作歌
（云初宿称水間）

作歌哥咲者而巨勢朝臣豊人問之即作和
歌翻咲也

戯嗤儒歌一首

法師等ニ鬚乃剃刀馬墜痛勿引苦儒半可

法師答歌一首

橿越之笠勿三苔戸等我課伎緑者汝毛半可

夢裏作歌一首

芝城田乃子師田乃稲子倉拳成与阿李子稲ニ

志吾経良久者

歌一首 并短歌

戯嗤僧歌一首

法師等嗤鷹乃著弊机馬繋痛物引著僧半甘

法師答歌一首

橿越之並勿三笠山等我課伎緑者汝毛半甘

夢裏作歌一首

並城田乃子師田乃稲子倉今咲子稲子

志吾経良久者

おくらすのこのねをくくうえて

あらくもしもとくくた

右歌一首忘失里歴夢裏作此短歌賀文焉

散世間空等歌二首

生死ここ三海辛散見潮子千乃山辛ここ努止鶴鴨
いまきのみ乃のこ見をいもはまきてこ
しのやはよきのれるのも
世間ここ繁昔慮本住ここ将至國ここ附不知同
ものみのみくもりいなすてて
いえんこのこりまこうすん

右歌二首河原寺ここ佛壇裏在俵琴一面ここ
辛ここ三汁有乃御本並ここ有者根物射珍山辛見
まく知香熟務
こうもこもこのもこもきこは

いとまのなきのみにあらず
しのやまひのそこはかとなきもの
世間に繁昌處本住に將至國に多附不向
ものゝみにくまりいをすべて
いえにのこりすくらすべし

右歌二首河原寺に佛堂裏在傳琴一面に
二字に三汁有乃御琴並に有者狼狽射矢山平見
まく知香熟務

こしもとも　もつのそまをきるには
サ
めくはのやまをこそもちつゝむ

右歌一首

鰥寡孤獨廢疾者流罪以死者減一等
流死
許當海若潮干之

山菅枯為礼

くさぐさのうつくしものをつみもてゆきてたむけつるかも

右歌一首

蜻蛉痩人歌二首

石麻呂吾物申夏痩爾吉跡云物曽武奈伎魚取喫

いさなとりめすともなつやせにきくとふものそむなきとりくへ

痩々生有者将在干波多也波多也爾波志

痩々生有者将在干浜辺

汁者無鳧

右歌一首

蜻蛉痩人歌二首

石麻呂吾物申夏痩爲吉河乎物曽武奈伎取喫（呂 ニ 爲 ヲ 痩 セ 武 牟 也）

いまだともなはぬものまうみなつやせ

のともりもそもものすくとりそとも

痩々生有者将在干波多也波（婆）多乎（キ）奈伎伎乎

汁乎毛

やもおもいけらはあらむよそらもを

きそとともおそのそまなるも

右有吉田連老字曰石麻呂所謂仁敬之子也

其老為人身躰甚痩雖多喫飲形似飢饉

自此大伴宿祢家持作悲歌二首

高宮王詠数種花歌二首

首夏孟初相保尊祀流庫葛絙事無古旧為

ももの木もさくらの木もともにこのころ

いつしかもしくしくかもさきにほふらむ

波羅門乃作有流水田子鳴鳥歟腫之播幢各古

そこをしの川くれなゐもそこもこのころ

なつかしもなれてきこゆるほととぎす

癈疾者歌一首

飯喫騰味如不在雖行往安久毛不有寿根佐須

皂莢尓延於保登礼流屎葛絶事無宮将為

さうけふにはひおほとれるくそかつら

たゆることなくみやつかへせむ

波羅門乃作有流水田乎喫烏眼腫而幡幢尓居

はらもんのつくれるをたをはむからす

まなふたはれてはたほこにをり

戀夫君歌一首

飲（飯）喫騰味母不在雖行往安久毛不有赤根佐須

君之情志忘可祢津藻

いひはめとうましくもあらすありけともやすくもあらす

あかねさすきみかこころしわすれかねつも

右歌二首傳云佐為王有近習婢也于時宿直
不逢夫君雖過戚情馳結(係應カ)恋寄深於是
當宿之夜夢裏相見覺寤掻探枕當之觸
手不乃吹旦歌歟高聲吟詠此(カ)旨王司之裏
慟永死待宿也

此
茅ら吾恋力乞集功余申者五位乃冠
このころの夏草のごとしちぢにもの
うれたきわれかもなげ

頃者ら吾恋力不給者京地余出ら将所
このころの夏草のごとしちぢにもの
まりてそうまうさん

右歌二首

筑前國志賀白水(泉)郎歌十首

手今乃吹但歌敬高聲吟詠此旨王同之衆
慟永死待宿也
此
光来之吾懇力託集功今申者五位乃冠
このころの夏のころしもころもあつめて
うつろいさいこみのころ
頂者之吾懇力不給者京地今出之将所
このころの夏のころしもころもかな
まりてーうまつりさん
右歌二首
筑前國志賀白泉史郎敬十首
王之不来今清江今行之荒雄良與今袖振
ありまこのつるぎたちもゆるらに
をらねまそてみ
荒雄良宇将来可不来可等飯盛乃門今出之雉待来不座

志賀乃山痛勿伐荒雄良我本須可乃山道見管将思

荒雄良我妻子 今日往志賀乃安麻乃大浦由沿浦者

不逢有哉

官許曽倍乞手 遣来情出本行く荒雄良波本柚根

待騰来不座

荒雄良我去尓之日従志賀乃安麻乃大浦田沼者
不楽有哉
あらをらかゆきにし日よりしかのあまのおほうらたぬは
さふしくもあるかや
官許曽指弖毛遣米情出尓行之荒雄良波尓袖振
つかさこそさしてもやらめさかしらに
ゆきしあらをらなみにそてふる
荒雄良者妻子之産業乎波不念呂年之八歳乎
待騰来不座
あらをらはめこのなりをはおもはすろとしのやとせを
まてときまさす
奥鳥鴨云船之還来者也良乃埼守早告許曽
おきつとりかもといふふねのかへりこはやら
のさきもりはやくつけこそ
奥鳥鴨云船之還来者也良乃埼守早告許曽

奥鳥嶋之舟者也良乃埼多米之橋米迎川岡浮礼
水手ともこゝろよくこぎいでゝ
奥吉利羅小船本異志美人見之麻
おほゆらやおほうらもこゝろ
わるく也とてとくおくりもし
大船本小船引副可至久登毛志侶乃高雄本潜特礼人乃
おもひもこゝろよくこぎいでゝ
おくりもしつ

右件船舶等者大宰府差筑前國宗像郡之百
姓宗形利人津麻呂充對馬送粮船使事
麻呂詣澤於郡志賀村白水郎高雄高雄許治日
僕有士事差發不許欲高雄荅曰主雖異所仕

わ
大船余ト船引留可至久登毛志加乃荒雄余賜将来ト乃
[illegible]
[illegible]

右ノ神籠等ヲ大宰府并ニ国宇像社ノ司
社家ノ訓人津麻呂ニ託シ奉送ル船ノ如キ手ヲ以津
麻呂ニ託シ那志賀ノ於村白水郎荒雄ニ許給ヒシ
僕有ル事アリ数日ヲ経テ荒雄ヲ召シ使ヒ用ル
日久シ志萬ノ兄弟在ル於殉死ニ及ヒ辞ヲ以津麻呂ニ
府官ノ差僕ノ死ヲ以テ送船ヲ施ス事ヲ為ニ哀老ヲ思ヒ
路ヲ乗ル於便ヲ乗ル於是荒雄許ニ承ル往

彼事有角肥前國松浦縣美祢良久崎荒舶
直射對馬波海釜時忽天暗瓦筆風(意)吹雨(雲)
順風流波(没)海中爲目新妻子等不賭情
某哉作此歌并筑前國守山上憶良臣進
感妻子等傷述作此歌

紫乃粉海乃海人乃潜鳥潜出者吾玉乎将爲
むらたまの(ま)このうらなみ(ゆ)かづくとも(ゆ)
たまをかもむ(ま)

右歌一首

角鳴之迫門乃稚海苔者人之共有之可採吾(共)和
海苔

右歌一首

其歌作出歌并筑前國守山上憶良臣進

感妻歌一首 併短歌

業乃為海乃深奈潜出者吾玉乎将為

もろもろのこころのごとくもろもろに

右歌一首

角鳴之迫門乃稚海苔者人之共有之可採吾者和

海苔

右歌一首

吾門之榎實毛利喫百千鳥千鳥者雖来吾者不来

わのかどのえのみもりくひももちどりちどりはくれどわれはこなくに

吾門乃千鳥数鳴汝来夜毛一夜妻人乎共宿名

わつとなおもきそくおもわぬもの

川水也

右歌二首

河射鹿子従河邊和草身若可信今佐猪（宿）子

いそ〳〵かもとゝもるかなこのみくれのみわれ

こうるまれのこゝろもも

右歌二首

琴酒（ひきさけ）手枠（てわく）葉（は）小野往出流水奴流久彼不出寒水こゝ毛

計夜今門会音こ寸道今相奴鴨寸こ道今相佐要伴

呂雅（雅一手）を流管笠こ吾宇奈要雅流（阪）時乃七隆取替毛相事物（持）

辛寸道今相奴鴨

右歌二首

豊前國白水郎歌二首

右歌二首

琴酒(ハテノミキ)主神(ヌシノカミ)象(キサ)山野(ヤマノ)住出流水奴流久彼不出寒水(シミヅ)之毛

計良(ケラ)波今叫(サケ)音(ネ)久寸道公相奴鴨吉寸道公相佐婆伴

呂雅(雅一字)世流管笠(スゲガサ)等宇奈(ウナ)李雅流(阿)時乃七俸取替毛相宇物(持)

宇士寸道公相奴鴨

右歌一首

豊前國白水郎歌一首

豊國企救乃池奈流(蓮)美久宇礼志(ウレシ)子梓(アヅサ)巫女(ミコ)

所沽(カフ)計訓

とよくにのきくのいけなるみくさのうれしくもあるかな

豊後國自水郎歌一首

紅深き衣雨矣之今佳七波雖為移波米也毛

能登國歌三首

揩楯舳未乃夜良今新羅斉通之和之阿毛伎乎

鳴為菅科澪出流釜廻将見和之川沿乃机乃

鳴舳士螺辛仟梭持来之

右歌一首傳之或有愚人斉通海底之不能鑑

沉無理浮水斬作此歌以吟為咲也

揩楯舳未洒后今真奴良面和之佐須七之浮之未士

麻之辛真奴良面奴和之

能登國歌二首

揩楯舡未乃夜良今新羅奈良通入和ゝ阿毛伝勿
鳴為菁科澤出流登能将見和ゝ川可夜机乃
鳴舡水螺辛仟桧将来ゝ

右歌一首傳ゝ或有愚人奈良通海底ゝ不能鏤
流無理浮水斯作此歌以吟為給也

揩楯舡未浦后今真奴良面和ゝ佐須比ゝ孚ゝ来奈
麻ゝ子真奴良面和ゝ
石以都追伎支利早川今洗濯辛垣今古故登毛義
高坏今盛桃今ゝ母今奉献也母豆児乃母文今献群
也卯女児乃母

越中國歌二首

大野路者 鳌前 森侄之氣久登毛 志禁 遍者侄者

廣計武

[illegible]

泥久、

淞鰲乃二上山 公就鷲 雷子產跡 云椎羽 本毛 君之所為

公就鷲雷子生跡 弖

[illegible]

侍夜產礼神 佐倫青雲乃由 名引日良 (麻) 柒雷係

柒 一云本 今可武佐倫

[illegible]

侍夜產神乃布 今日良毛加麻乃伎良武皮服著

及ビ

淑鬱乃二上山公鶯皆子産湯ニ梅羽本毛君ニ御為

公鶯皆子生湯ニ

侍夜産於礼神佐備青雲乃由名引日良(麻)栄皆保

栄一ニ本今可弐佐備

侍夜産神乃布本今日良毛加麻乃伏良弐皮服着

於(ニ)当前(附)奉我良

(モカ)

伴刀古君完乃君若共さ之物尓伴行迩波韓國乃辛者
神乎生取尓頸取持来其皮乎多ゝ孫利八重畳
手君等乃山今心月与五月丙巽仏頭尓引乃此行
山尓二走伴智比河ナ尓何哉今様与八多婆佐孫比等来加支
良八多婆左許完侍迩吾佑時今佐男鹿乃来之嘆久
頓尓吾可死王今吾仕牟吾角者御笠乃波庇詩五吾耳者
御墨坩吾角良波真墨乃鏡吾仏似者御与之与波又吾毛
等者沽簗波庇斬吾波者河箱皮尓今吾完者河尓奈麻須
波庇志伎毛母沽奈麻須波庇尓之吾義義波御塩乃波庇
之者角美奴吾身一尓七重花佐久八重花生迩白奈頁佑奈
尼

山今二去作皆以汁九十今楼以八多婆仁
良八多婆左許完待巡吾姑時今佐男庶乃来之嘆久
頓今吾可死王今吾仕牟吾角者汁乃波庵詩吾耳者
汁里悩吾角良波真里乃鏡吾仍者汁弓之ら波又吾毛
等者沽箪波庵斯吾波者汁箱伎今吾完者汁牟麻須
波庵志伎毛母沽牟麻須波庵之吾義義波汁塩乃波庵
之者角美奴吾身一今七重花佐久今重花生波白衣須
尼
右歌一首者三庶生痛作ら也
思耳八難波乃小江今廬作難麻理之沽事汁今手王台
施河者牟今吾手台良朱明久吾知事手秋人波和手

吾良来夜雨吹遊和辛吾良来夜琴引遊和辛吾良来
夜彼毛命受辛遊今日遊飛鳥今引雑豊勿今引雑不
荣都久怨今引来叶門由奈納来五今受例婆烏今乞
當布毛太志可久物乎今乞雪鼻縄波久例呂引乃山
介山乃毛武今衣孔子五百枝彼伎波垂天克夜日乃黒
介山乃始垂辛李久垂来五陶人乃可作眠辛今日
小江乃始垂辛李久垂来五陶人乃可作眠辛今日

往明日取持来吾同良久今遊洋給腊煮毛腊煮毛

右歌一首為擲走遊作之也

怕物歌三首

天今有哉神樂良能山野今菜摘哀我背波可今鶏

當麻毛太志可久物宇治黒鼻縄波久付思ひ乃辺

竹山乃毛武公良子(孔)五百枝彼伎(波伎)垂天光流(垂)日乃黒(黒一本)髪手

佐比豆流夜手雄(雄)今香志(手)手雄(雄)子今香志光(光)難波乃

小江乃始垂(垂)手(手)手久(手)垂(垂)来五陶人乃(来)門作照手今日

住明日取持来吾(吾)月良(良)久今迦(迦)洋給腊(腊)賀毛腊(腊)賀毛

右歌一首為獺(獺)遊(遊)痛作(作)之也

怕物歌三首

天公有哉神(神)樂良(樂良)能小野今茅草苅(苅)婆(婆)可今鵐(鵐)

手(手)毛

あをなあをなやこらくこらくつつもたせるをなこりもうまうまうまつつもたせるをなこ

奥(奥)国領君(君)之(之)深(深)江(江)乃(乃)浦(浦)矣(矣)神(神)之(之)門渡

082
Ki.
11
7828